

令和元年度PRTRデータの概要（千葉市内分）について
 ー化学物質の排出量・移動量の集計結果ー

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法又はPRTR法）に基づき、国あてに事業者から届出があった令和元年度分の千葉市内の化学物質の排出量・移動量について、本年3月19日に国が公表したデータを基に市独自に集計した結果がまとまりましたので公表します。

今回は、同法施行後19回目の集計結果の公表で、その概要は以下に示すとおりです。

なお、国のホームページでは、個別事業所から届出のあった排出量等のデータ及び届出対象外の排出量の推計値を閲覧できます。

※PRTRデータに関するホームページ：<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

I 令和元年度PRTRデータの集計結果

1. 集計結果の概要

(1) 届出事業所数（詳細はP.2）

千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
157 事業所（12.7%）	1,239 事業所	33,318 事業所

(2) 届出排出量・移動量（詳細はP.3）

	千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
届出排出量	570 トン（11.3%）	5,052 トン	140 千トン
届出移動量	1,690 トン（11.6%）	14,528 トン	244 千トン
届出排出量・移動量	2,260 トン（11.5%）	19,581 トン	384 千トン

※ダイオキシン類を除く これ以降の届出排出量及び移動量も同様）

(3) 千葉市内で届出排出量・移動量が多い物質（詳細はP.7 及び8）

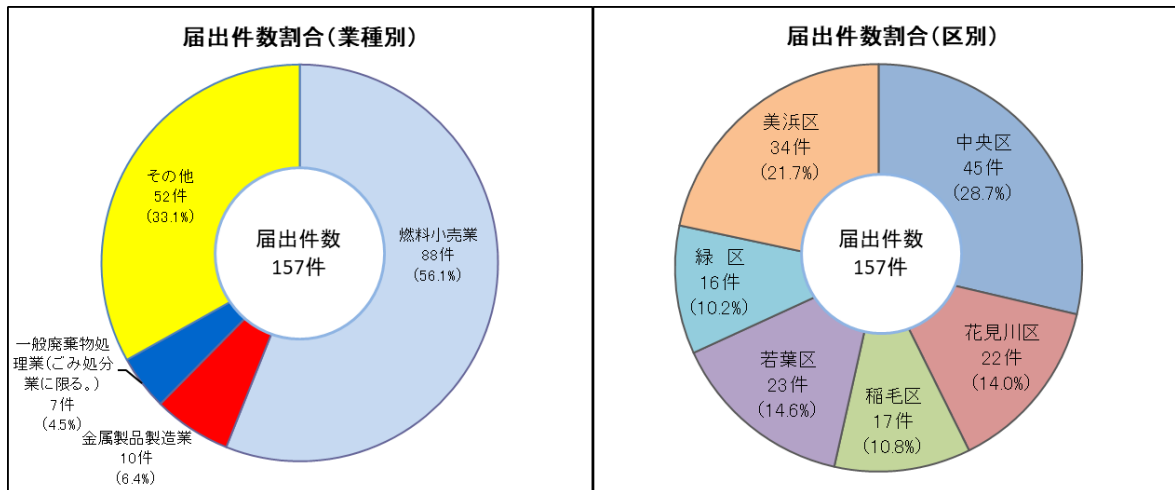
届出排出量 上位3物質（総排出量比）	① ノルマル-ヘキサン	165 トン（29.0%）
	② キシレン	103 トン（18.1%）
	③ トルエン	74 トン（13.0%）
届出移動量 上位3物質（総移動量比）	① 無水フタル酸	700 トン（41.4%）
	② クロム及び三価クロム化合物	391 トン（23.1%）
	③ キシレン	94 トン（5.6%）

2. 行政区・業種別の届出状況

本市においては、25業種・157事業所から届出があり、燃料小売業からの届出数が全体の56.1%を占めています。また、行政区別では、中央区が最も多く28.7%を占め、次いで美浜区、花見川区及び若葉区となっています。

(単位:事業所数、%)

業種名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計	割合
金属鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
原油・天然ガス鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
製造業	16	4	5	2	2	9	38	24.2
食料品製造業	0	0	0	0	0	4	4	
飲料・たばこ・飼料製造業	0	0	0	0	0	0	0	
酒類製造業	0	0	0	0	0	0	0	
たばこ製造業	0	0	0	0	0	0	0	
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	
衣服・その他の繊維製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
木材・木製品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
家具・装備品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
出版・印刷・関連産業	0	0	0	0	0	0	0	
化学工業	1	0	0	0	0	1	2	
塩製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	1	
農薬製造業	0	0	0	0	0	0	0	
石油製品・石炭製品製造業	2	0	0	0	0	0	2	
プラスチック製品製造業	1	0	0	0	0	1	2	
ゴム製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
なめし革・同製品・毛皮製造業	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石製品製造業	1	0	0	1	0	0	2	
鉄鋼業	3	0	0	0	0	0	3	
非鉄金属製造業	2	0	2	0	0	0	4	
金属製品製造業	6	1	1	0	1	1	10	
一般機械器具製造業	0	1	2	0	1	0	4	
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電子応用装置製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気計測器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
輸送用機械器具製造業	0	0	0	1	0	1	2	
鉄道車両・同部分品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
船舶製造・修理業、船用機関製造業	0	0	0	0	0	0	0	
精密機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
武器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気業	1	0	0	0	0	0	1	0.6
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	1	0	0	0	0	2	3	1.9
鉄道業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
倉庫業	0	0	0	0	0	3	3	1.9
石油卸売業	1	0	0	0	0	1	2	1.3
鉄スクラップ卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
燃料小売業	22	14	10	16	12	14	88	56.1
洗濯業	0	0	0	1	0	2	3	1.9
写真業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車整備業	0	0	0	0	0	2	2	1.3
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
商品検査業	0	1	0	0	0	0	1	0.6
計量証明業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	1	1	0	4	0	1	7	4.5
産業廃棄物処分業	1	1	0	0	0	0	2	1.3
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
医療業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	1	0	1	0	0	0	2	1.3
自然科学研究所	1	1	1	0	2	0	5	3.2
合計	45	22	17	23	16	34	157	100.0



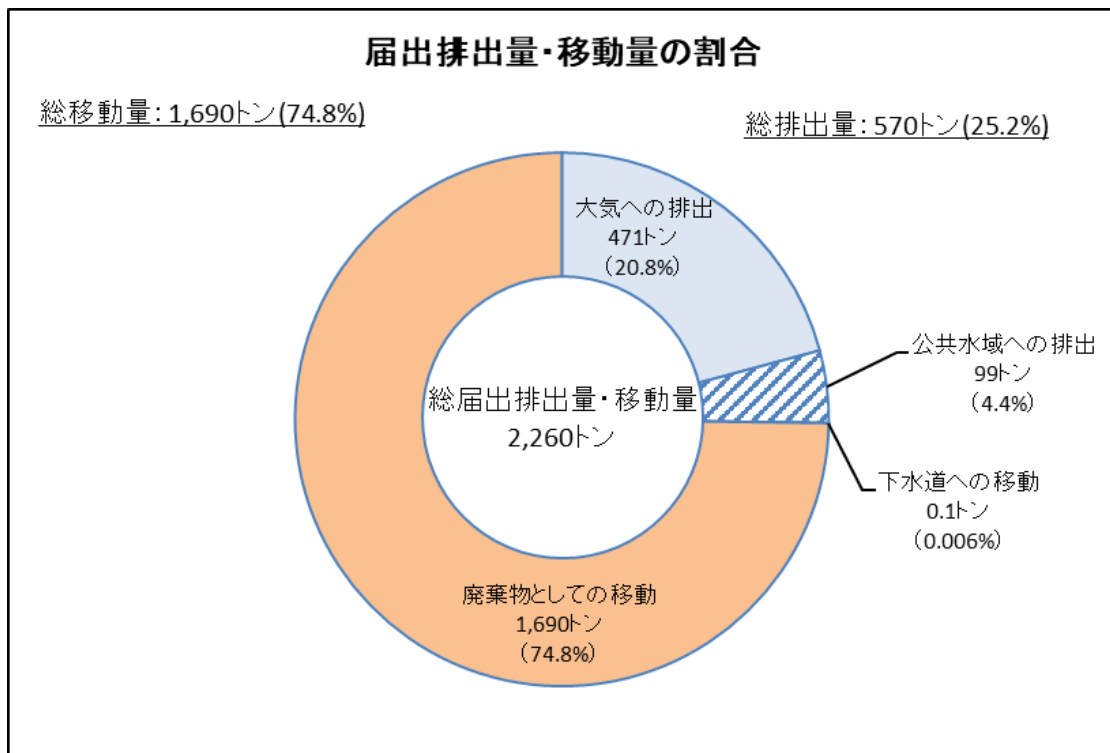
3. 届出排出量・移動量の集計結果

(1) 届出排出量・移動量の内訳

事業所から届出のあった総排出量及び総移動量の内訳は下図のとおりです。

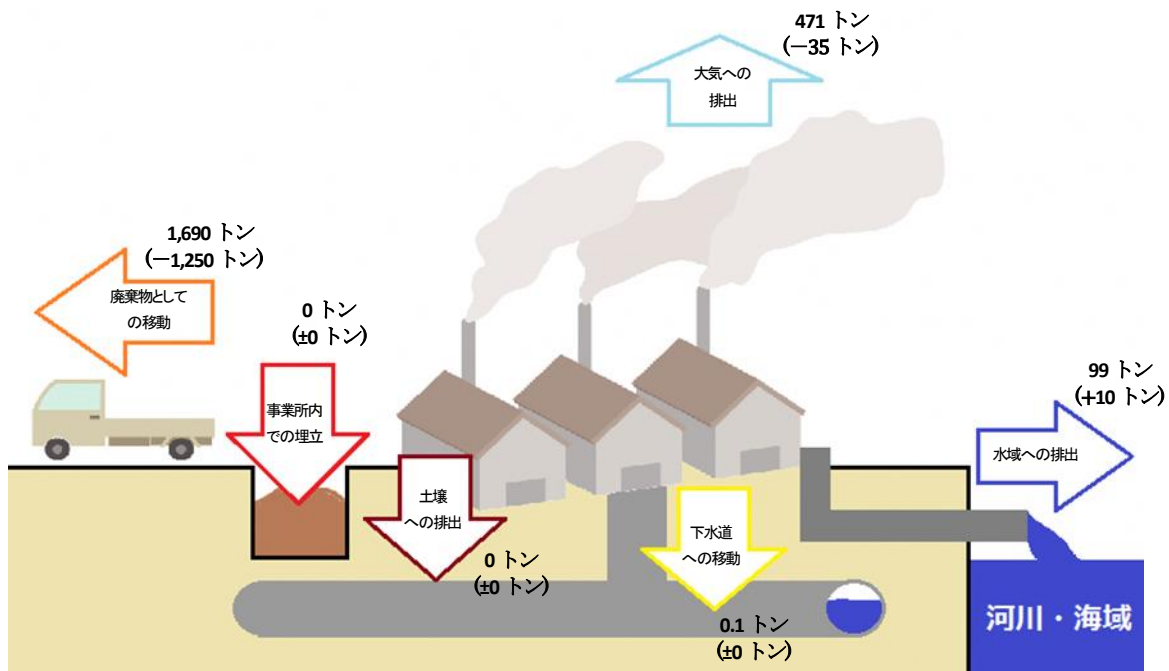
排出量では大気への排出が最も多く、全体の 20.8%を占めており、移動量ではそのほとんどが廃棄物としての移動でした。

また、土壌への搬出及び事業所内における埋立処理の届出はありませんでした。



※ () 内は、総届出排出量・移動量に対する比率

排出量・移動量の区分



※ ()内は、前年度比

(2) 行政区別の排出量・移動量

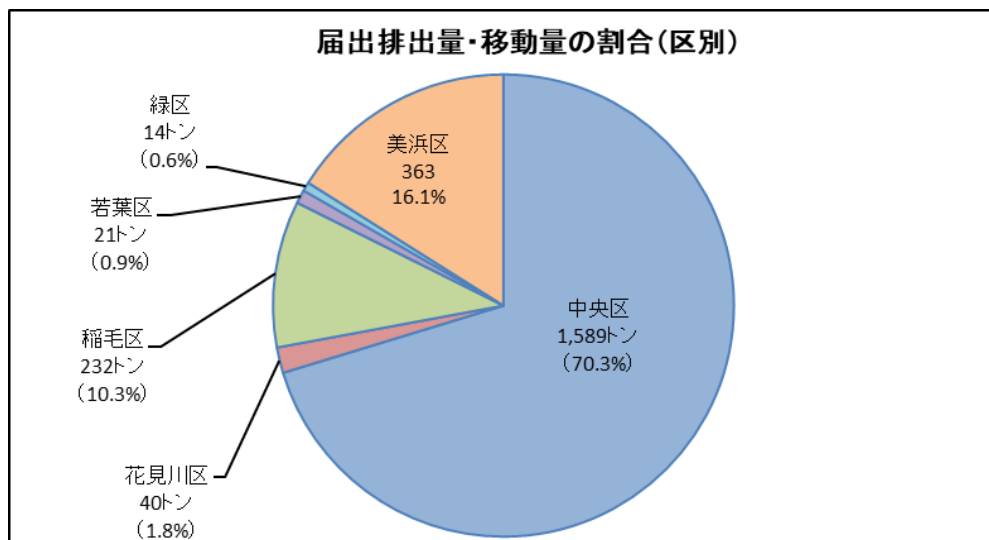
行政区別では、中央区が最も多く 70.3%を占め、次いで美浜区、稲毛区となっています。

区名	排出量(kg/年) ^{※1}					移動量(kg/年) ^{※2}			排出・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
	大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
中央区	139,506	75,620	0	0	215,126	0	1,373,467	1,373,467	1,588,593	70.3
花見川区	35,661	1	0	0	35,663	0	4,830	4,830	40,493	1.8
稲毛区	84,181	0	0	0	84,181	0	147,610	147,610	231,791	10.3
若葉区	18,139	316	0	0	18,455	0	2,920	2,920	21,375	0.9
緑区	9,580	0	0	0	9,580	0	4,600	4,600	14,179	0.6
美浜区	183,866	23,077	0	0	206,943	135	156,372	156,507	363,450	16.1
合計	470,933	99,014	0	0	569,947	135	1,689,799	1,689,934	2,259,881	100.0
割合(%)	20.8	4.4	0	0	25.2	0.006	74.8	74.8	100.0	

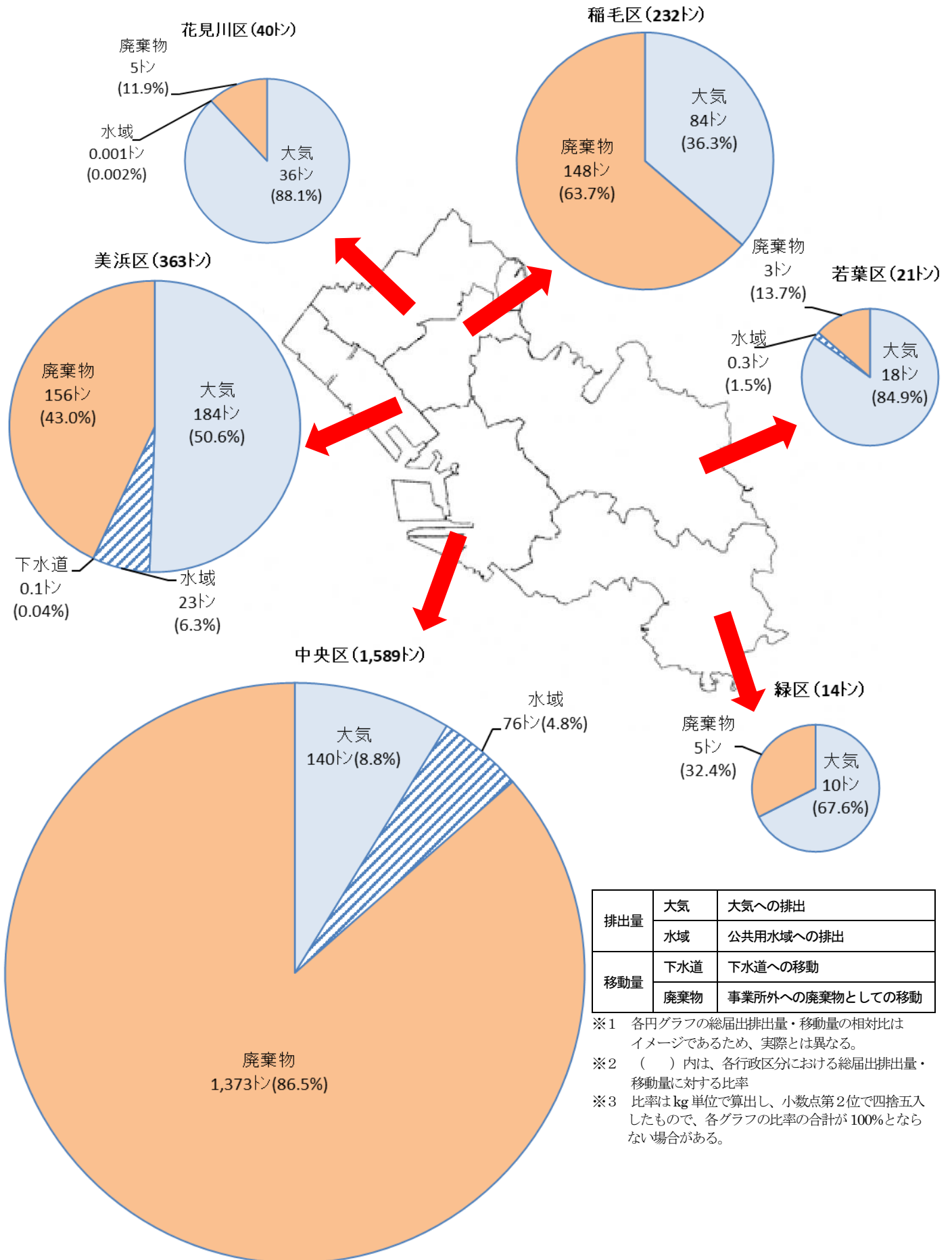
※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

※2 下水道：下水道への移動 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所からの届けられた該当データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。



各行政区別の届出排出量・移動量の割合



排出量	大気	大気への排出
	水域	公共用水域への排出
移動量	下水道	下水道への移動
	廃棄物	事業所外への廃棄物としての移動

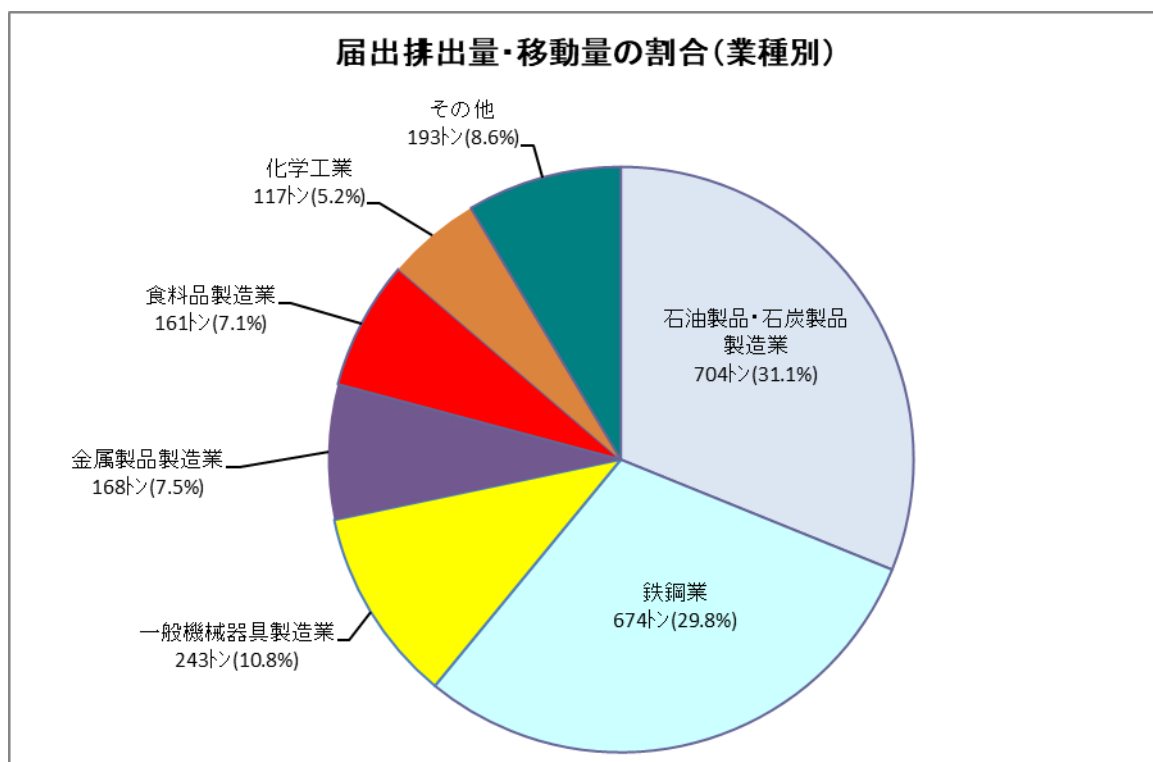
- ※1 各円グラフの総届出排出量・移動量の相対比はイメージであるため、実際とは異なる。
- ※2 () 内は、各行政区分における総届出排出量・移動量に対する比率
- ※3 比率はkg単位で算出し、小数点第2位で四捨五入したもので、各グラフの比率の合計が100%とならない場合がある。

(3) 業種別排出量・移動量

業種別の届出排出量・移動量の集計した結果が以下のとおりであり、石油製品・石炭製品製造業が最も多く31.1%を占め、次いで鉄鋼業、一般機械器具製造業となっています。また、石油製品・石炭製品製造業の主な排出先・移動先は、事業所外への廃棄物としての移動でした。

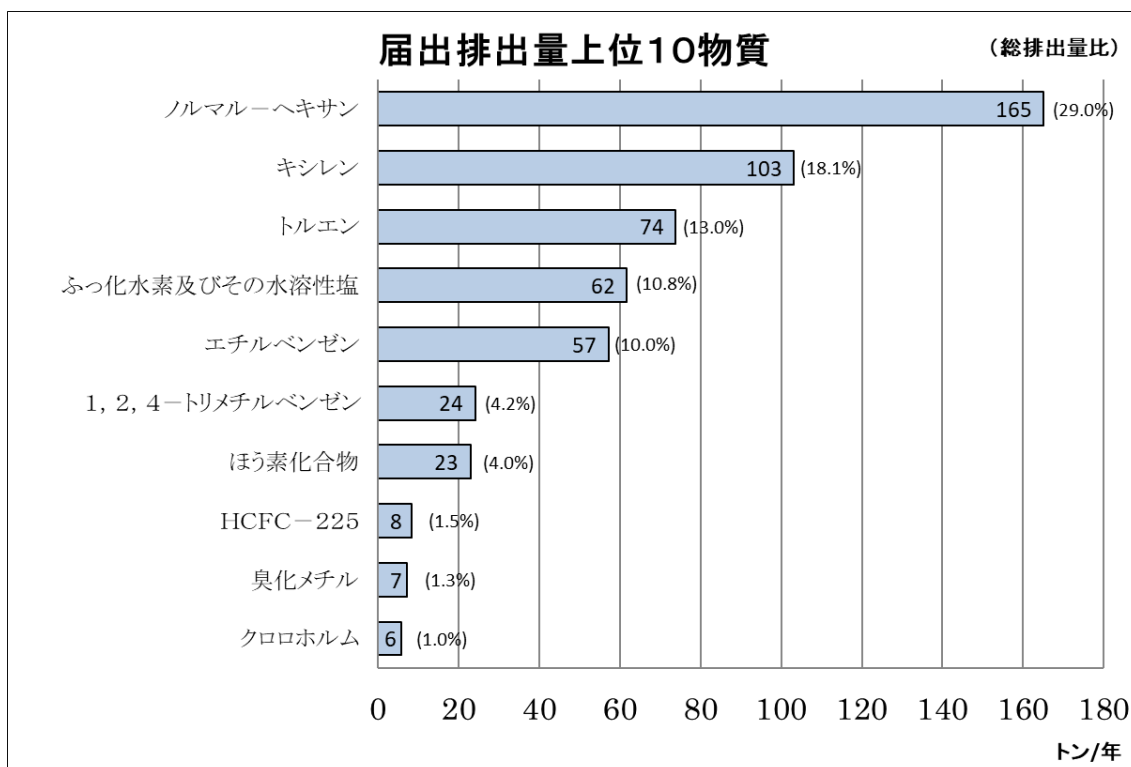
業種名	届出数	排出量(kg/年) ^{※1}					移動量(kg/年) ^{※2}			排出量・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
		大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
製造業	38	438,734	64,611	0	0	503,345	5	1,673,302	1,673,307	2,176,652	96.3
食料品製造業	4	159,400	0	0	0	159,400	0	1,680	1,680	161,080	7.1
木材・木製品製造業	1	7,600	0	0	0	7,600	0	590	590	8,190	0.4
化学工業	2	155	0	0	0	155	5	116,700	116,705	116,860	5.2
医薬品製造業	1	10,914	0	0	0	10,914	0	35,500	35,500	46,414	2.1
石油製品・石炭製品製造業	2	3,199	0	0	0	3,199	0	700,400	700,400	703,599	31.1
プラスチック製品製造業	2	0	95	0	0	95	0	0	0	95	0.0
窯業・土石製品製造業	2	138	0	0	0	138	0	253	253	391	0.0
鉄鋼業	3	25,637	64,515	0	0	90,152	0	583,479	583,479	673,631	29.8
非鉄金属製造業	4	2,430	0	0	0	2,430	0	34,854	34,854	37,284	1.6
金属製品製造業	10	111,855	1	0	0	111,856	0	56,636	56,636	168,492	7.5
一般機械器具製造業	4	99,750	0	0	0	99,750	0	143,210	143,210	242,960	10.8
輸送用機械器具製造業	2	12,456	0	0	0	12,456	0	0	0	12,456	0.6
医療用機械器具・医療用品製造業	1	5,200	0	0	0	5,200	0	0	0	5,200	0.2
電気業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	3	0	33,839	0	0	33,839	0	0	0	33,839	1.5
倉庫業	3	2,130	0	0	0	2,130	0	0	0	2,130	0.1
石油卸売業	2	205	0	0	0	205	0	0	0	205	0.0
燃料小売業	88	21,638	0	0	0	21,638	0	0	0	21,638	1.0
洗濯業	3	1,650	0	0	0	1,650	130	4,200	4,330	5,980	0.3
自動車整備業	2	6,000	0	0	0	6,000	0	42	42	6,042	0.3
商品検査業	1	1	0	0	0	1	0	1,700	1,700	1,701	0.1
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	7	0	564	0	0	564	0	0	0	564	0.0
産業廃棄物処分量	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	2	575	0	0	0	575	0	8,600	8,600	9,175	0.4
自然科学研究所	5	0	0	0	0	0	0	1,955	1,955	1,955	0.1
全業種合計	157	470,933	99,014	0	0	569,947	135	1,689,799	1,689,934	2,259,881	100.0
割合(%)		20.8	4.4	0.0	0.0	25.2	0.006	74.8	74.8	100.0	

※1～3については、3(2)行政区別の排出量・移動量と同じ



(4) 届出排出量の中で多い物質

届出排出量上位 10 物質の合計は 529 トンで、総届出排出量 570 トンの 92.9%にあたります。



※ HCFC-225 は、ジクロロペンタフルオロプロパンのことである。(これ以降も同様)

※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出排出量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出排出量(kg)	主な用途
1	ノルマルーヘキサン	食料品製造業	150,000	溶剤
		燃料小売業	12,965	
		医薬品製造業	1,100	
2	キシレン	一般機械器具製造業	45,900	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	40,720	
		輸送用機械器具製造業	6,206	
3	トルエン	一般機械器具製造業	25,150	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
		金属製品製造業	19,890	
		燃料小売業	6,312	
4	ふっ化水素及びその水溶性塩	鉄鋼業	48,000	合成原料、金属・ガラスの表面処理剤等
		下水道業	13,400	
		一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限る。)	309	
5	エチルベンゼン	金属製品製造業	25,870	合成原料、溶剤
		一般機械器具製造業	23,700	
		鉄鋼業	6,080	

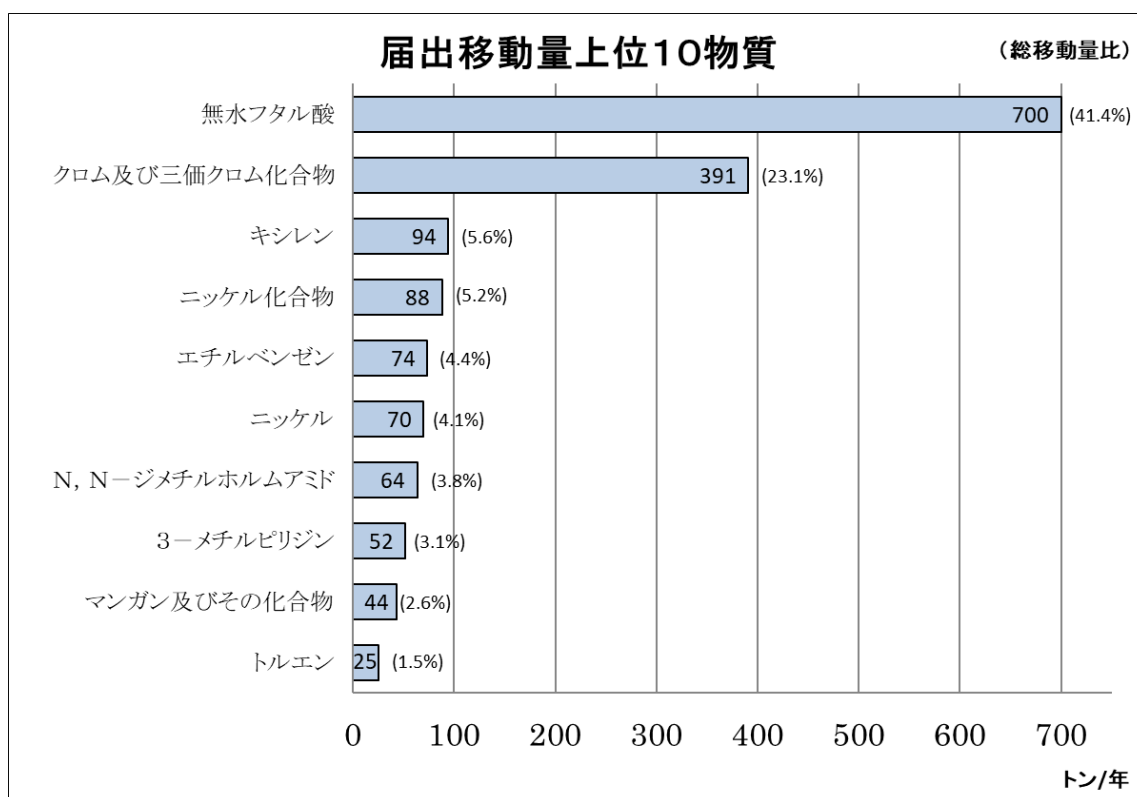
区別届出排出量上位5物質

(単位：kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	① ぶっ化水素及びその水溶性塩	51,120	若葉区	① キシレン	6,349
	② キシレン	44,407		② トルエン	6,067
	③ エチルベンゼン	31,423		③ ノルマルーヘキサン	2,684
	④ トルエン	20,315		④ エチルベンゼン	1,338
	⑤ 1, 2, 4-トリメチルベンゼン	19,056		⑤ テトラクロロエチレン	1,300
花見川区	① トルエン	16,559	緑区	① トルエン	5,052
	② キシレン	7,360		② キシレン	1,903
	③ フェノール	5,300		③ ノルマルーヘキサン	1,831
	④ ノルマルーヘキサン	2,700		④ エチルベンゼン	596
	⑤ エチレンジクロールモノエチルエーテル	2,300		⑤ ベンゼン	171
稲毛区	① キシレン	38,782	美浜区	① ノルマルーヘキサン	152,664
	② エチルベンゼン	22,621		② トルエン	10,442
	③ トルエン	15,425		③ ぶっ化水素及びその水溶性塩	10,400
	④ 1, 2, 4-トリメチルベンゼン	5,020		④ ほう素化合物	9,500
	⑤ ノルマルーヘキサン	1,596		⑤ 臭化メチル	7,160

(5) 届出移動量の中で多い物質

届出移動量上位10物質の合計は1,602トンで、総届出移動量1,690トンの94.8%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出移動量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出移動量(kg)	主な用途
1	無水フタル酸※1	石油製品・石炭製品 製造業	700,000	合成樹脂原料、合成 原料、ゴム薬品
2	クロム及び三価クロム化合物※2	鉄鋼業	390,000	ステンレス鋼、メッ キ、顔料等
		金属製品製造業	690	
3	キシレン	一般機械器具製造業	75,990	合成原料、ガソリン・ 灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	10,270	
		鉄鋼業	6,900	
4	ニッケル	鉄鋼業	88,027	メッキ、磁性材料、ス テンレス鋼、ニッケ ル鋼
		金属製品製造業	320	
		非鉄金属製造業	45	
5	エチルベンゼン	一般機械器具製造業	60,150	合成原料、溶剤
		金属製品製造業	11,420	
		鉄鋼業	2,000	

※1 無水フタル酸については、1業種のみから届出があった。

※2 クロム及び三価クロム化合物については、2業種のみから届出があった。

区別届出移動量上位 5 物質

(単位 : kg)

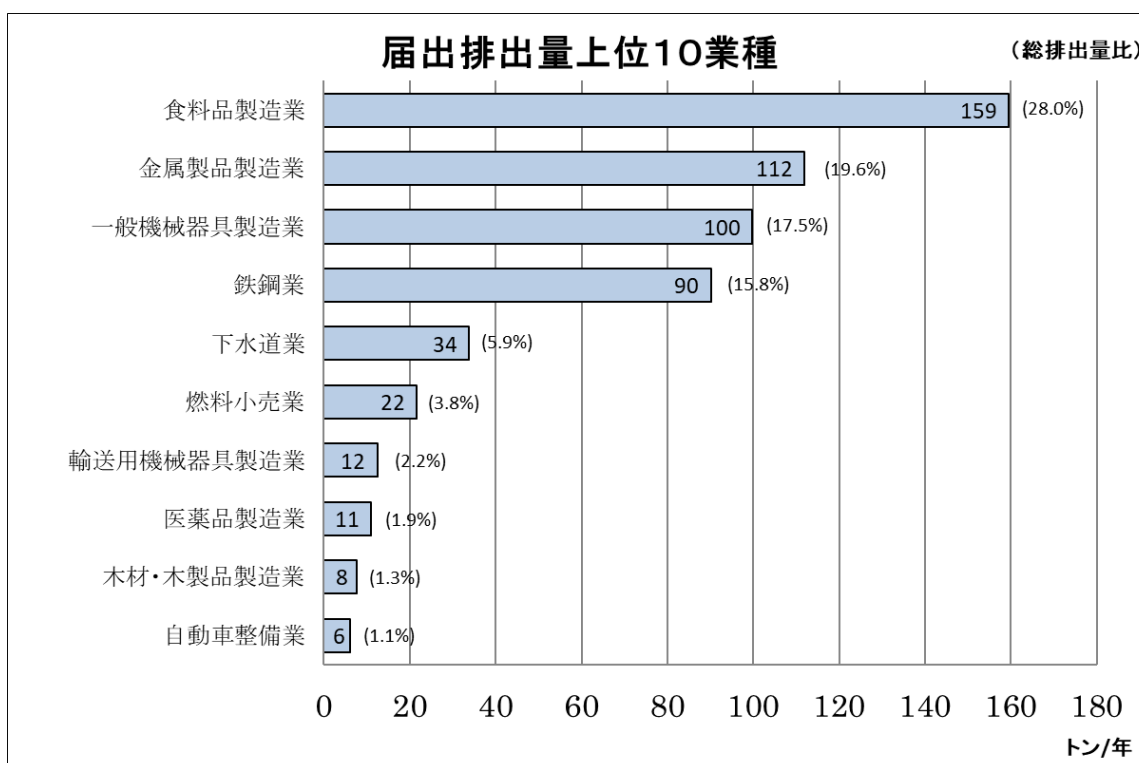
区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①無水フタル酸	700,000	若葉区 ※1	①テトラクロロエチレン	2,800
	②クロム及び三価クロム化合物	390,690		②フェノール	120
	③ニッケル化合物	88,392			
	④ニッケル	69,015	緑区 ※2	①トルエン	4,300
	⑤マンガン及びその化合物	43,240		②エチルベンゼン	220
花見川区	①トルエン	3,100	③キシレン	80	
	②キシレン	990			
	③フェノール	420	美浜区	①N, N-ジメチルホルムアミド	64,003
	④エチングリコールモノエチルエーテル	170		②3-メチルピリジン	52,002
	⑤エチルベンゼン	150		③クロロホルム	10,000
稲毛区	①キシレン	75,000		④アセトニトリル	7,900
	②エチルベンゼン	60,000		⑤トルエン	7,128
	③ノルマルドデシルアルコール	3,800			
	④クロロホルム	3,000			
	⑤1, 2, 4-トリメチルベンゼン	2,900			

※1 若葉区の移動量については、2物質のみの届出があった。

※2 緑区の移動量については、3物質のみの届出があった。

(6) 届出排出量の中で多い業種

届出排出量上位 10 業種の合計は 554 トンで、総届出排出量 570 トンの 97.1%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別業種別届出排出量上位5種

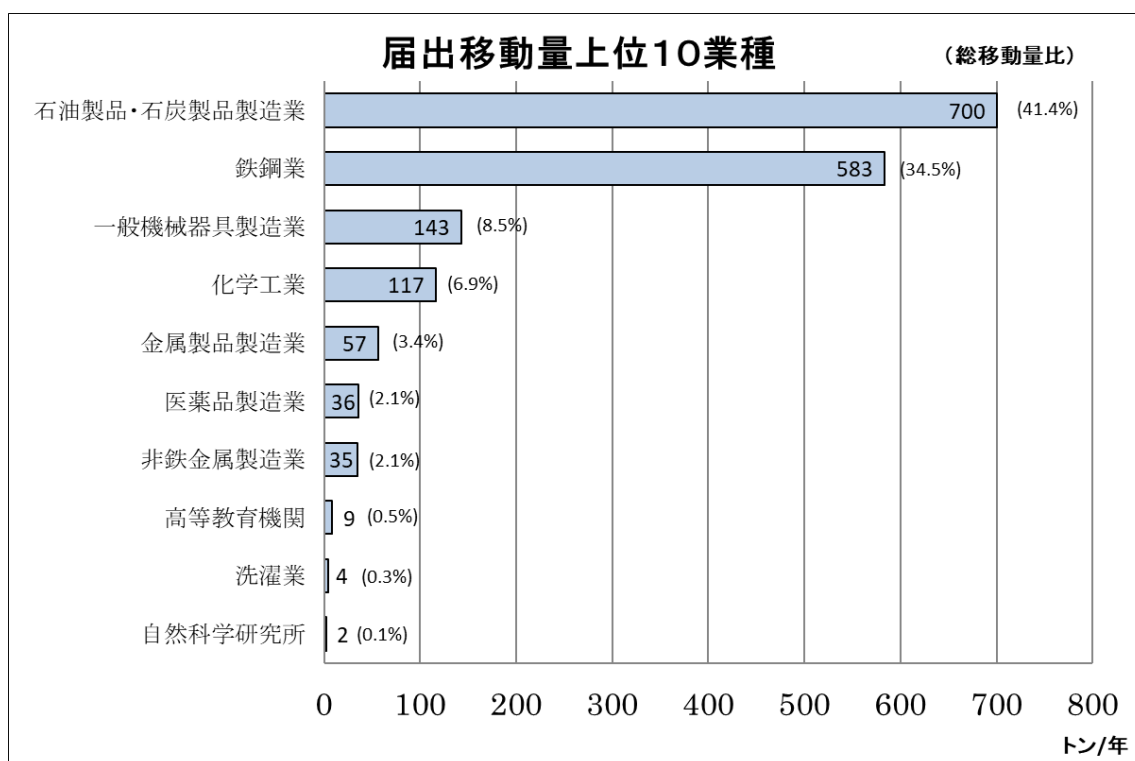
(単位：kg)

区	物質名	届出排出量	区	物質名	届出排出量
中央区	①金属製品製造業	105,521	若葉区	①輸送用機械器具製造業	12,300
	②鉄鋼業	90,152		②燃料小売業	4,429
	③下水道業	10,762		③洗濯業	1,300
	④燃料小売業	4,865		④一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	316
	⑤石油製品・石炭製品製造業	3,199		⑤窯業・土石製品製造業	110
花見川区	①一般機械器具製造業	18,300	緑区	①金属製品製造業	4,170
	②木材・木製品製造業	7,600		②燃料小売業	3,009
	③医療用機械器具・医療用品製造業	5,200		③一般機械器具製造業	2,400
	④燃料小売業	4,561			
	⑤金属製品製造業	1			
稲毛区	①一般機械器具製造業	79,050	美浜区	①食品製造業	159,400
	②非鉄金属製造業	2,430		②下水道業	23,077
	③燃料小売業	2,337		③医薬品製造業	10,914
	④高等教育機関	320		④自動車整備業	6,000
	⑤金属製品製造業	44		⑤燃料小売業	2,436

※1 緑区の排出量については、3業種のみから届出があった。

(7) 届出移動量の中で多い業種

届出移動量上位 10 業種の合計は 1,686 トンで、総届出移動量 1,690 トンの 99.7%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第 1 位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出移動量上位 5 業種

(単位 : kg)

区名	物質名	届出移動量	区名	物質名	届出移動量
中央区	①石油製品・石炭製品製造業	700,400	若葉区 ※3	①洗濯業	2,800
	②鉄鋼業	583,479		②窯業・土石製品製造業	120
	③金属製品製造業	54,246	緑区 ※4	①一般機械器具製造業	1,800
	④非鉄金属製造業	31,054		①自然科学研究所	1,800
	⑤高等教育機関	4,000		③金属製品製造業	1,000
花見川区 ※1	①一般機械器具製造業	2,540	美浜区	①化学工業	116,705
	②商品検査業	1,700		②医薬品製造業	35,500
	③木材・木製品製造業	590		③食料品製造業	1,680
稲毛区 ※2	①一般機械器具製造業	138,870		④洗濯業	1,530
	②高等教育機関	4,600		⑤金属製品製造業	1,050
	③非鉄金属製造業	3,800			
	④金属製品製造業	340			

※ 1、4 花見川区及び緑区の移動量については、3 業種のみから届出があった。

※ 2 稲毛区の移動量については、4 業種のみから届出があった。

※ 3 若葉区の移動量については、2 業種のみから届出があった。

II 令和元年度データと前年度までのデータの比較

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果は、以下のとおりです。

1. 届出事業所数

届出のあった事業所数は、下表のとおりで、令和元年度は157事業所で前年度より2事業所減少しました。

2. 届出排出量・移動量

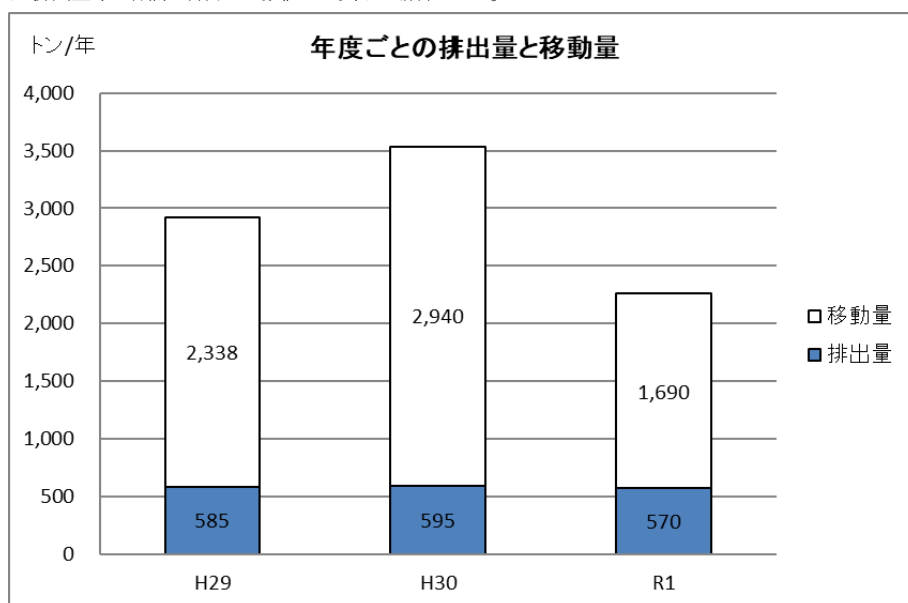
令和元年度分の届出排出量・移動量の合計は2,260トンで前年度より1275トン減少しました。排出量については570トンで前年度より25トン減少、移動量については1,690トンで前年度より1,250トン減少しました。

届出排出量・移動量の経年変化

単位：kg/年

排出先		H29年度	H30年度	R1年度	前年度比増減
排出量	大気	501,363	505,778	470,933	-34,845
	公共用水域	83,922	89,359	99,014	+9,655
	土壌	0	0	0	±0
	埋立処分	0	0	0	±0
	合計	585,285	595,137	569,947	-25,190
移動量	下水道	144	135	135	±0
	廃棄物	2,337,640	2,939,464	1,689,799	-1,249,665
	合計	2,337,785	2,939,599	1,689,934	-1,249,665
排出量・移動量の合計		2,923,070	3,534,735	2,259,881	-1,274,854
届出事業所数		158	159	157	-2

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。



(1) 業種別の届出排出量・移動量

平成29年度から令和元年度の届出排出量・移動量の業種別経年変化は次のとおりです。

届出排出量・移動量の業種別経年変化

業種名	排出量・移動量の合計(kg/年)		
	H29	H30	R1
製造業	2,816,701	3,427,647	2,176,652
食料品製造業	139,700	142,810	161,080
木材・木製品製造業	9,070	7,410	8,190
化学工業	110,784	116,860	116,860
医薬品製造業	79,470	98,390	46,414
石油製品・石炭製品製造業	505,049	1,207,223	703,599
プラスチック製品製造業	90	100	95
窯業・土石製品製造業	447	390	391
鉄鋼業	1,481,700	1,352,307	673,631
非鉄金属製造業	31,771	37,715	37,284
金属製品製造業	172,853	174,575	168,492
一般機械器具製造業	269,050	272,660	242,960
輸送用機械器具製造業	12,317	12,007	12,456
医療用機械器具・医療用品製造業	4,400	5,200	5,200
電気業	23,000	0	0
熱供給業	-	18,000	-
下水道業	31,096	37,493	33,839
倉庫業	1,170	100	2,130
石油卸売業	139	400	205
燃料小売業	22,276	21,861	21,638
洗濯業	5,820	5,600	5,980
自動車整備業	6,391	6,295	6,042
商品検査業	2,001	2,001	1,701
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	451	498	564
産業廃棄物処分業	0	0	0
高等教育機関	12,709	12,913	9,175
自然科学研究所	1,318	1,926	1,955
全業種合計	2,923,070	3,534,735	2,259,881

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。

※ 表中「-」は当該年度に届出なしを示す。

(2) 届出排出量・移動量の上位3物質

令和元年度分における届出排出量・移動量の上位3物質の経年変化は次のとおりです。

排出量では上位3物質中、ノルマル-ヘキサンの1物質が前年度より増加、キシレン、トルエンの2物質が前年度より減少し、移動量では、無水フタル酸、クロム及び三価クロム化合物、キシレンの3物質すべてが前年度より減少しました。

届出排出量上位3物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出排出量(kg/年)		
			H29	H30	R1
1	392	ノルマル-ヘキサン	137,664	146,071	165,055
2	80	キシレン	123,227	121,835	103,016
3	300	トルエン	82,526	79,781	73,860
市全体の総届出排出量			585,285	595,137	569,947

届出移動量上位5物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出移動量(kg/年)		
			H29	H30	R1
1	413	無水フタル酸	500,000	1,200,000	700,000
2	87	クロム及び三価クロム化合物	1,100,520	1,000,660	390,690
3	80	キシレン	136,604	142,533	94,374
市全体の総届出移動量			2,337,785	2,939,599	1,689,934

